

(様式第2号) (第14条関係)

太陽光発電施設設置許可申請書

令和6年 11月 18日

長野県知事 様

住 所 群馬県館林市下早川田町708-2  
氏 名 有限会社中村商事  
代表取締役 中村茂美  
〔法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第14条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

太陽光発電施設の設置の場所	塩尻市大字片丘字梨ノ木9214番44	
事業区域の位置及び面積	別添「位置図及び事業区域図」参照 4,919㎡	
太陽光発電施設の合計出力	249.9kW (太陽電池の合計出力 467.28kW)	
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途 <input checked="" type="checkbox"/> 売電 <input type="checkbox"/> 自家消費 設備ID ( AK79192C20 )	
	設置工事着手予定日	令和6年12月23日
	設置工事完了予定日	令和7年8月29日
	運転開始予定日	令和7年8月29日
	施設撤去予定日	令和27年8月29日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。	
景観保全のための措置の検討に関する事項	別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。	別添「環境の保全のための措置の検討状況書」参照	
備考	連絡先 (電話番号) 026-285-0735 (FAX番号) 026-285-0735 (電子メールアドレス) contact@tryl.jp	

注1 該当する□内にレ印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在す

- る土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
  - 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
  - 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
  - 6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
  - 2 事業区域図
  - 3 登記事項証明書（申請者が法人である場合に限る。）
  - 4 誓約書
  - 5 太陽光発電施設の配置図
  - 6 土地の形質変更を行う場合にあつては、当該土地の造形計画の平面図、縦断面図及び横断面図
  - 7 擁壁を設置する場合にあつては、当該擁壁の構造図
  - 8 排水計画に係る平面図及び断面図
  - 9 太陽光発電施設の構造に関する図面
  - 10 現況写真
  - 11 条例第11条の書面
  - 12 その他知事が必要と認める書類



景観の保全のための措置の検討状況書

項目	検討事項	配慮する内容	
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	土地の造成等はならし程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成(シミュレーション)等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的な眺望点から視認できないが、完成予想図を作成した。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要な道路や住宅の敷地等に隣接はしていないが、一定距離後退させている。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	架台と架台の間を3m開けて配置した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を勘案し、パネルの最低部分を1.0m、最高部分2.0m程度とした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路や公共的な眺望点からは見えないと考えられる。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率の良い角度で揃えて配置した。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	周囲の山並み等と整合させた。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	パネルは南側を向いているので道路側から裏面は見えにくくなっている。

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	低反射のもの、結晶が目立たないものを選択した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	黒色を選択した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。
附帯施設・ 附属施設	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	施設の全周にフェンスを設置したが、景観に配慮し、茶色(5YR 2/6)とした。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	新設は必要最低限の本数とするよう検討した。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	景観に配慮した色彩を選んだ。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	植栽の計画はありません。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	同上	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	周辺には主要な道路や住宅が存在しない。	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	定期的に保守点検を行う。	
	(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	長野県景観条例に適合するよう設計した。	

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

# 高ボッチ高原3大標高展望広場



設置前

# 高ボッチ高原3大標高展望広場



設置後

眺望点から視認できません

## 環境の保全のための措置の検討状況書

①検討の対象項目	②事業内容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1,2,3,4
粉じん	(1) 事業区域に住居等が隣接するか	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<b>【(1)、(2)がどちらも「はい」の場合に記載】</b>
	(2) 切土・盛土を行う計画か	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
騒音・振動	(3) 建設機械が稼働する計画か	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<b>【(3)、(4)がどちらも「はい」の場合に記載】</b> ・同時に多数の建設機械が稼働したり、工事用車両が運行しないよう工事計画を調整する。
	(4) 次のいずれかに該当するか ・近隣に住居等が存在する ・工事用車両の走行ルート沿いに住居等が存在する	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
水環境	(5) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・水道水源保全地区 ・水資源保全地域	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<b>【(5)、(6)がどちらも「はい」の場合に記載】</b>
	(6) 次のいずれかに該当するか ・薬液注入工法を採用する ・事業区域内で農薬を使用する	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
動植物	(7) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・国立公園、国定公園、県立自然公園 ・長野県自然環境保全地域 ・希少野生動植物の生息地等保護区	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<b>【(7)～(8)のいずれか又は両方が「はい」の場合に記載】</b> 塩尻市生活環境課へ聞き取りを行ったが、事業区域内及びその周辺における希少な動植物の生息・育成情報は得られなかったため、環境保全措置は行わない。

①検討の対象項目	②事業内容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1,2,3,4
	(8) 事業区域内の次のいずれかの区域において、切土・盛土や樹木の伐採を行うか ・ 国有林、地域森林計画対象民有林 ・ 郷土環境保全地域 ・ 鳥獣保護区	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
触れ合い活動の場	(9) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園 ・ 郷土環境保全地域	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	【(9)、(10)が <u>どちらも</u> 「はい」の場合に記載】
	(10) 次のいずれかに該当するか ・ 事業区域に触れ合い活動の場が含まれる ・ 事業区域や工事用車両の走行ルートが触れ合い活動の場に隣接する	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	

※1 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討が必須である場合において、環境保全措置を検討した結果、環境保全措置を不要と判断したときは、その旨及び理由を④列に記載すること。

※2 環境影響評価法又は環境影響評価条例の対象事業については、環境保全措置の具体的な内容の記載に代わり、環境影響評価図書（事業基本計画書においては計画段階環境配慮書や環境影響評価方法書、許可申請書又は設置届出書においては環境影響評価書）の写しを添付することも可能。

※3 許可申請書又は設置届出書の作成にあたり、事業基本計画書から④列の内容を変更した場合は、変更後の内容及びその理由を④列に記載すること。（④列のうち、変更していない箇所には、従前のおり記載すること。）

※4 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討は必須ではないが、事業者が必要と判断して検討した環境保全措置の内容を④列に記載することは可能。

(参考様式) (第 19 条関係)

## 維持管理計画

作成日 令和 6 年 5 月 1 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字片丘字梨ノ木 9214 番 44	
事業者名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	群馬県館林市下早川田町 708-2 有限会社中村商事 代表取締役 中村茂美 0276-72-2035	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社トライル 長野市青木島町綱島 647-4
	電話番号	026-285-0735
合計出力	249.9 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	令和 27 年 8 月 29 日	
損害保険の加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する。 ・FIT 法の廃棄費用積立制度に基づく廃棄費用の外部積立を実施	
維持管理計画及び状況の公表方法	関係者から請求があつた場合に開示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

### ○強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

### ○豪雨による水害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

- ・事故、災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関 (経済産業省、県など) に連絡をする。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			年1回			
積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			年1回			
ボルト、ナットの緩みがない。			年1回			
固定強度に不足の懸念がない。			年1回			
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。	年1回		
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回		
			雨水、じんあい等の侵入がない。	年1回		
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。	年1回			
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。	年1回		
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年1回		
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年1回		
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回		

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

## 附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	<input type="checkbox"/>	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	<input type="checkbox"/>	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
つなぎ目にずれがない。						
排水設備	<input checked="" type="checkbox"/>	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	<input type="checkbox"/>	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

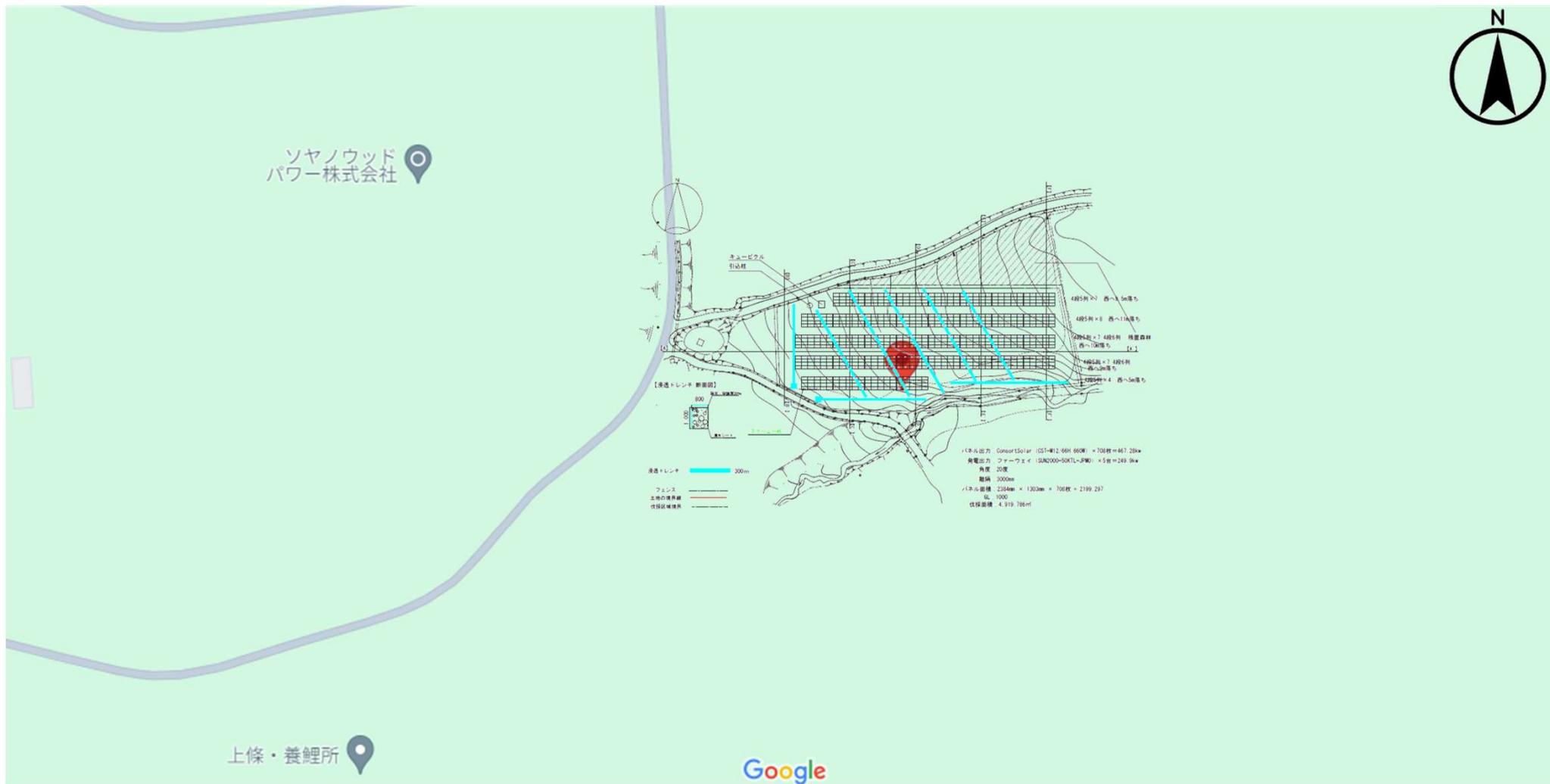
			草木の繁茂がない。		
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス(防護柵)	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年1回	
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	
			雨水等による洗掘がない。	年1回	
			草木の繁茂がない。	年1回	
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	
			雨水等による洗掘がない。	年1回	
			草木の繁茂がない。	年1回	

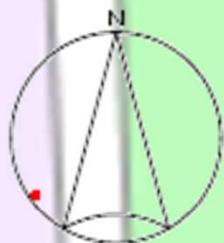
※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

# 塩尻市片丘9214-44 位置図1/10,000



# 塩尻市片丘9214-44 事業区域図1/2,500

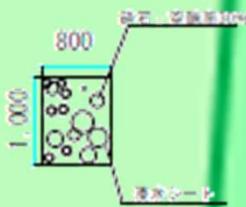




キュービクル  
引込柱

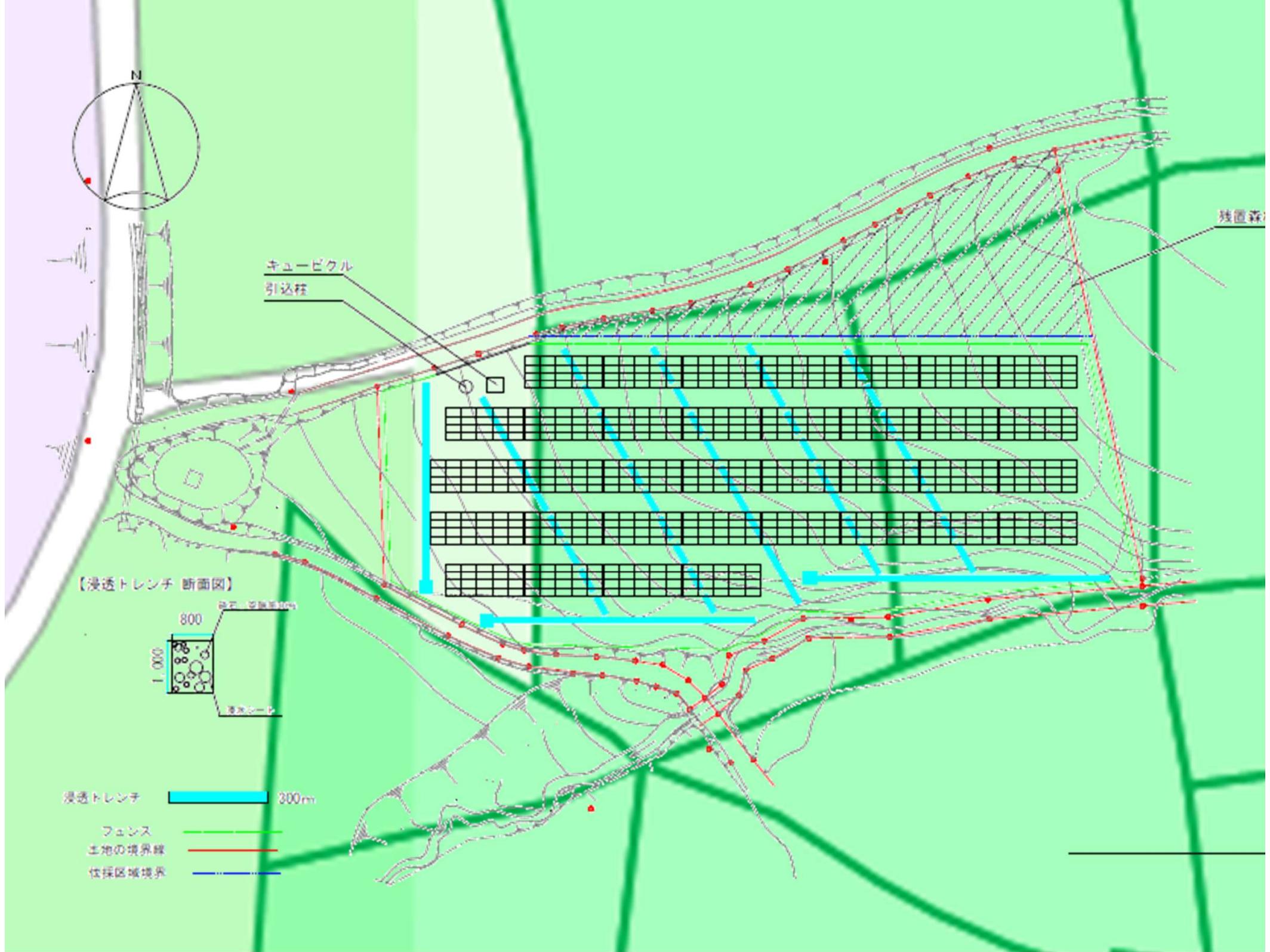
残置森

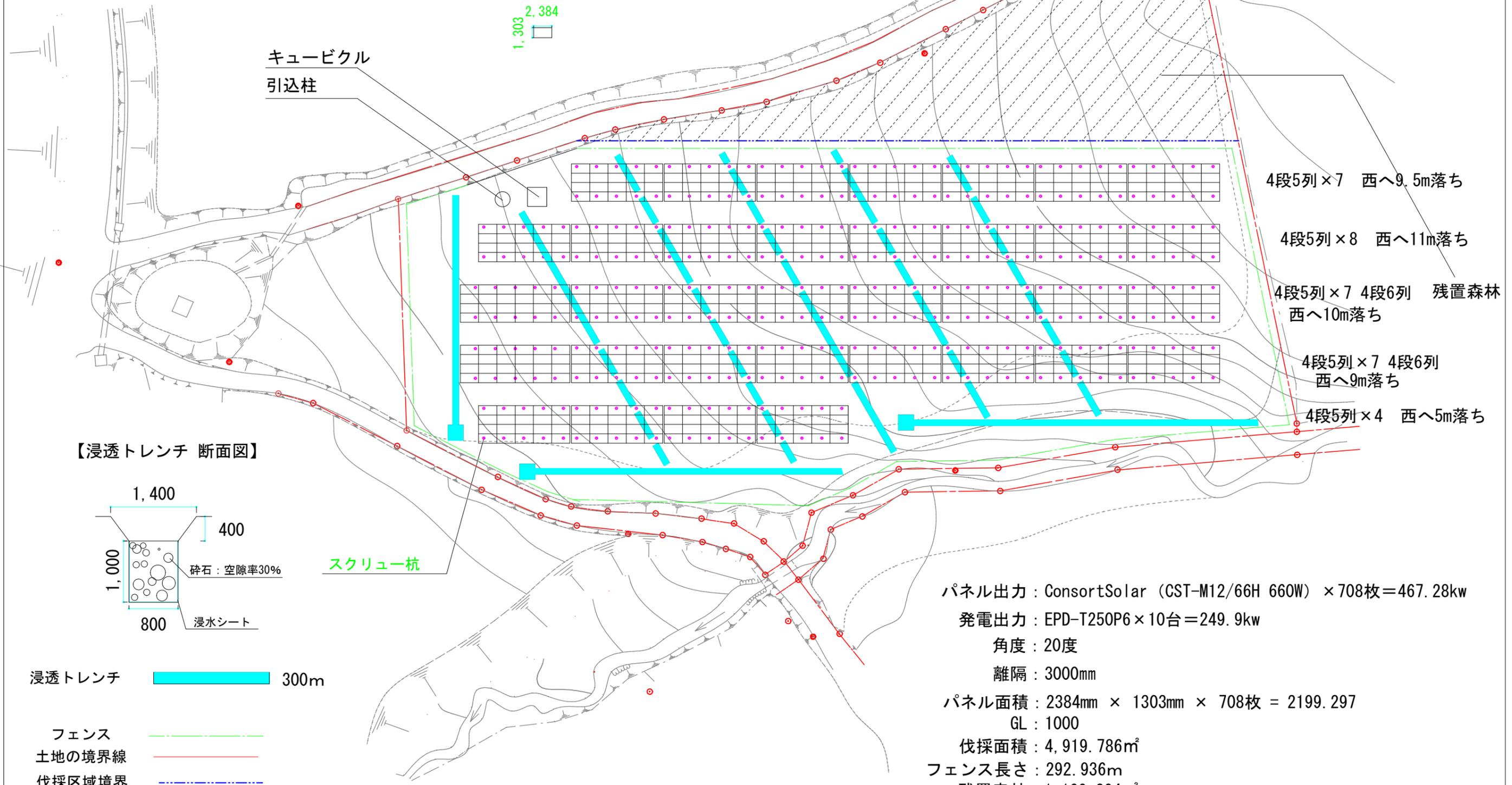
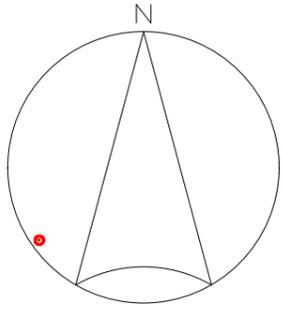
【浸透トレンチ 断面図】



浸透トレンチ 300mm

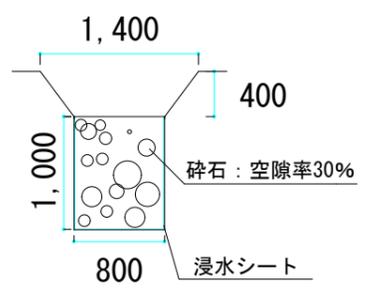
フェンス  
土地の境界線  
採採区域境界





4段5列×7 西へ9.5m落ち  
 4段5列×8 西へ11m落ち  
 4段5列×7 4段6列 残置森林 西へ10m落ち  
 4段5列×7 4段6列 西へ9m落ち  
 4段5列×4 西へ5m落ち

【浸透トレンチ 断面図】



スクリュウ杭

- 浸透トレンチ  300m
- フェンス
- 土地の境界線
- 伐採区域境界

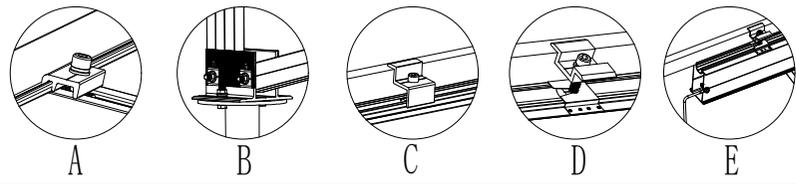
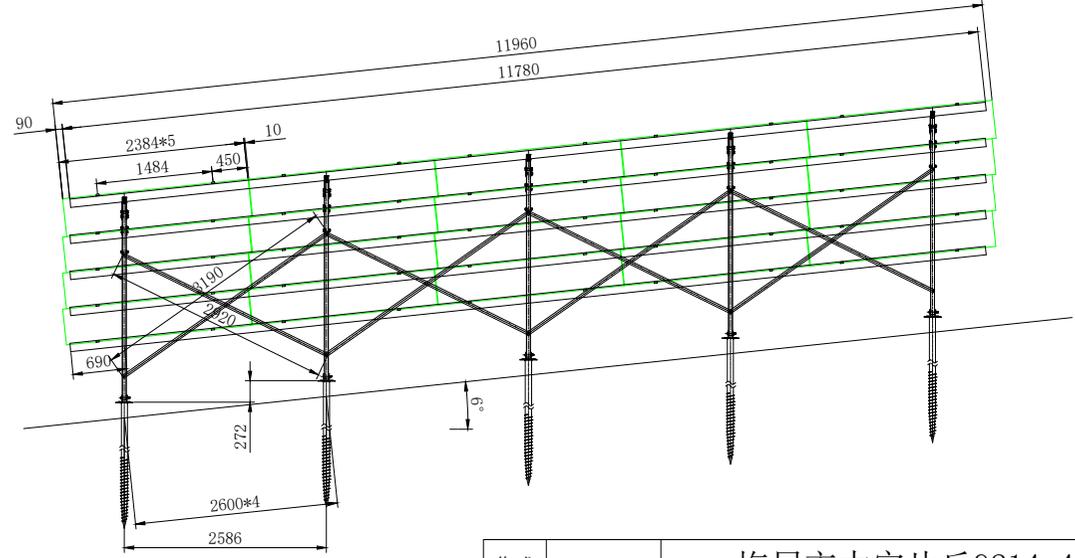
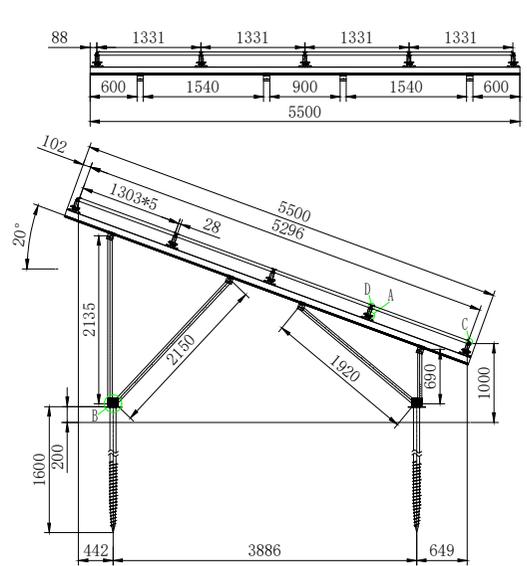
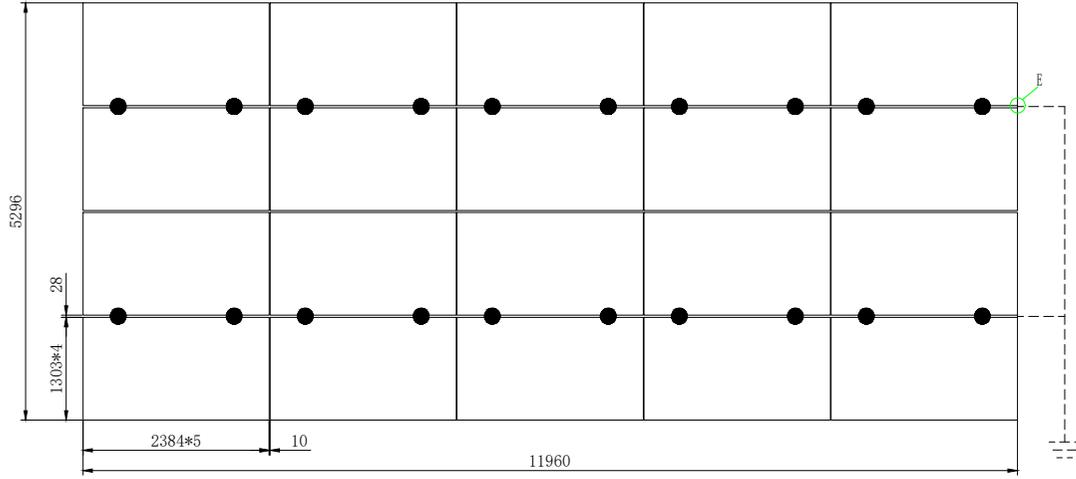
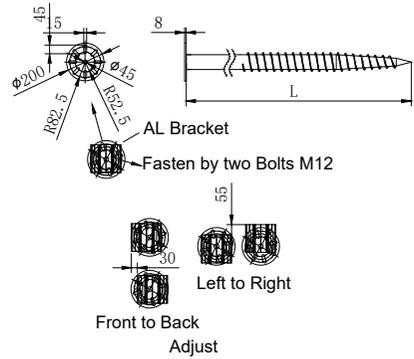
パネル出力 : ConsortSolar (CST-M12/66H 660W) × 708枚 = 467.28kw  
 発電出力 : EPD-T250P6 × 10台 = 249.9kw  
 角度 : 20度  
 離隔 : 3000mm  
 パネル面積 : 2384mm × 1303mm × 708枚 = 2199.297  
 GL : 1000  
 伐採面積 : 4,919.786㎡  
 フェンス長さ : 292.936m  
 残置森林 : 1,100.204㎡

株式会社トライル

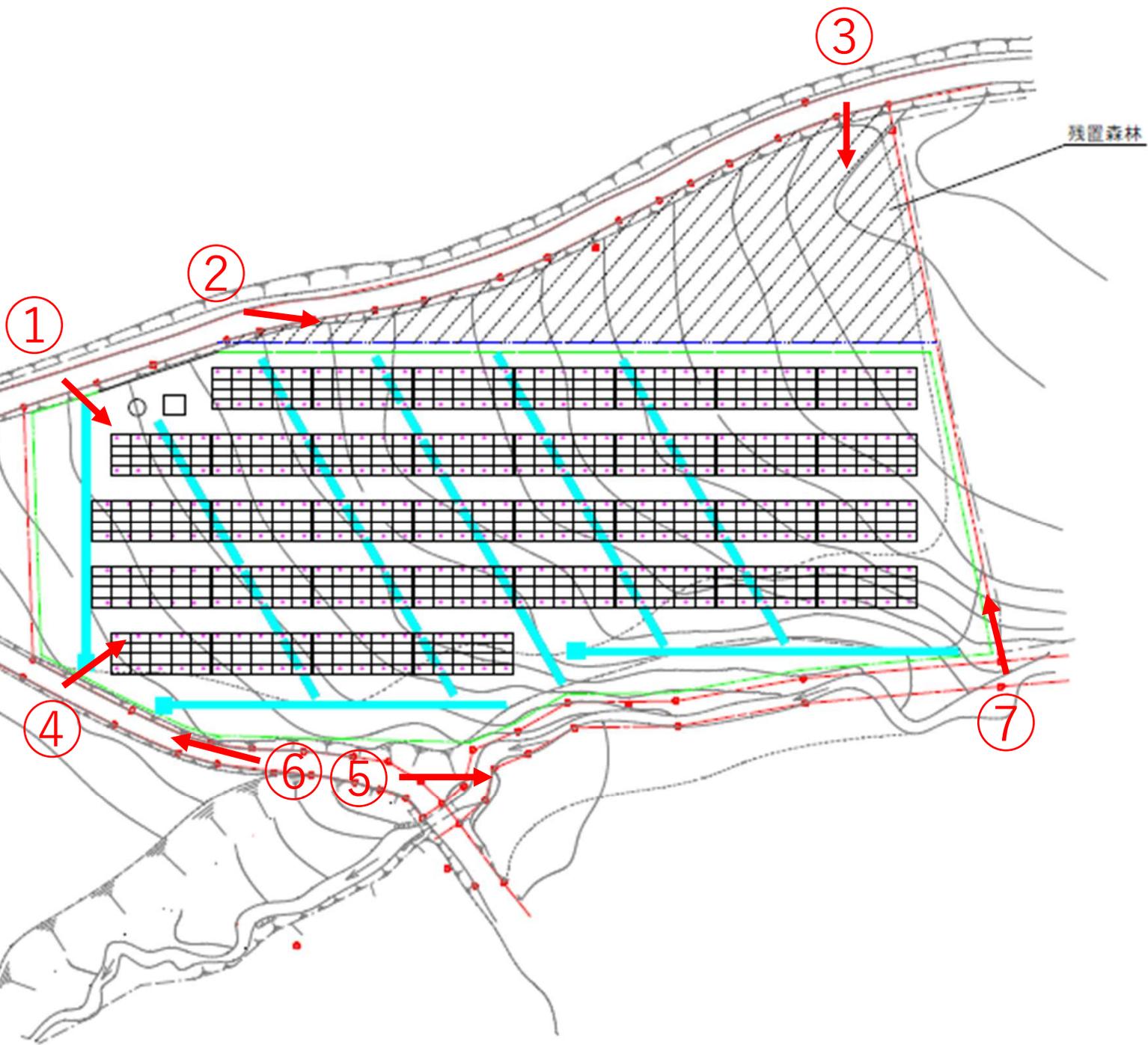
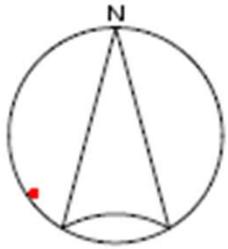
工 事 名	塩尻市大字片丘9214-44	作 成 年 月 日	縮 尺	No.
図 面 名	平面図	2024/7/22	1/500	

無断転写禁止

● アースプレート



作成	塩尻市大字片丘9214-44			
確認	NB1484-231006A			
許可	配列	4x5	設計基準	JIS-C8955-2017
	パネル寸法	2384x1303x35	地表面粗度区分	III
視角	風速	30m/s	積雪	60cm
	基礎	コンクリート アンカーボルトは提供しておりません。 スクリュー杭 設置場所の土壌条件によって、スクリュー杭の性能に対するテストが必要です。		
mm	比例	1:1	日付	



フェンス  
土地の境界線  
伐採区域境界

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



# 写真⑦



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和6年 8月 26日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	群馬県館林市下早川田町708-2 有限会社中村商事 代表取締役 中村茂美	
事業太陽光発電施設の設置の場所	塩尻市大字片丘字梨ノ木9214番44 (設備ID AK79192C20 )	
説明会開催についての周知の方法とその範囲	周知の方法：回覧 範囲：塩尻市北熊井地区	
説明会の概要	日時	令和6年7月22日(月曜日) 午後19時から20時まで
	場所	北熊井区公民館
	参加者数	8人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	株式会社トライル：代表取締役 平良諒 株式会社トライル：上原純 有限会社中村商事：押田皓太

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

- 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

有限会社中村商事

## 会社概要

- 会社名 有限会社中村商事
- 代表者名 中村茂美
- 所在地 群馬県館林市下早川田町708-2
- 創業 1874年
- 従業員数 60名

## 沿革

- 1874年 酒屋業から事業開始  
本店、館林店、足利店の三店舗を展開
- 2014年頃から太陽光発電事業を開始  
北海道から九州まで、全国に100件以上の発電所を保有

## 酒屋としての中村商事

- 全国にある酒屋小売業者3232社中売上高26位
- 群馬県内57社中売上高1位
- 酒のなかむらは地域密着型の店舗です。何かに特化した酒屋が多い中、珍しいお酒、お茶、ジュースなどの飲料系、お菓子、おつまみなど幅広い商品を扱っています。そのため、来ていただけるお客様の年齢層も幅広く、その地域の需要にあった商品を仕入れております。

# 店舗紹介

酒の中村 本店



酒の中村 足利店



## 太陽光発電事業

- 案件数
  - 関東エリアを中心に全国に133件
  - 長野県内でも既に20件ほど稼働済み
  - 予定地も合わせると長野県内で100件以上になる見込み
- 発電所の容量
  - 50kw以下の低圧案件から7000kwの特高圧案件まで保有
  - 合計50メガワット

# 保有発電所

宮城県某所 AC出力7000KW



埼玉県某所 AC出力998KW



## 太陽光発電事業を行っている意義

- 環境面

- 二酸化炭素を始めとする温室効果ガスを排出しない。
- 枯渇している化石燃料に対して、太陽光発電は燃料枯渇の心配がない。
- 現在、長野県内で使われていない農地を買い取り、下でブルーベリーなどの農作物を栽培し、その上に太陽光発電設備を設置するという事業を実施。この事業によって、使われていない土地を有効活用する事ができている。

- 収益面

- 中長期に渡って安定した売電収益を得ることができる。
- 一度保有した発電所をすぐ売却するのではなく、20年、30年と保有していくことによって長期にわたり事業を継続していくことが可能

## 太陽光発電事業を開始したきっかけ

- 中村商事は現在の社長で4代目になるが、いつの時代も地域の皆様に寄り添って柔軟に商売をしてきた。
- 以前はモノを大量消費する時代だったが、昨今SDGSが叫ばれる中で、現代に合った再生可能エネルギー事業を開始した。
- 地域の電力を地域で作る。そういった今までとは違う形で地域社会に貢献するということに非常に価値を感じている。

# 塩尻市片丘9214-44 太陽光発電所 事業概要説明会

---



# 塩尻市片丘9214-44

---

## 〈事業者〉

有限会社中村商事

群馬県館林市下早川田町708-2

TEL 0276-72-2035

代表取締役 中村茂美

担当者 押田皓太

## 〈行政手続き・住民窓口・管理責任者〉

株式会社トライル

長野県長野市青木島町綱島647-4

代表取締役 平良諒

## 〈施工会社〉

株式会社エイト

代表取締役 渡木 勉

名古屋市北区北久手町151

TEL 052-902-5421

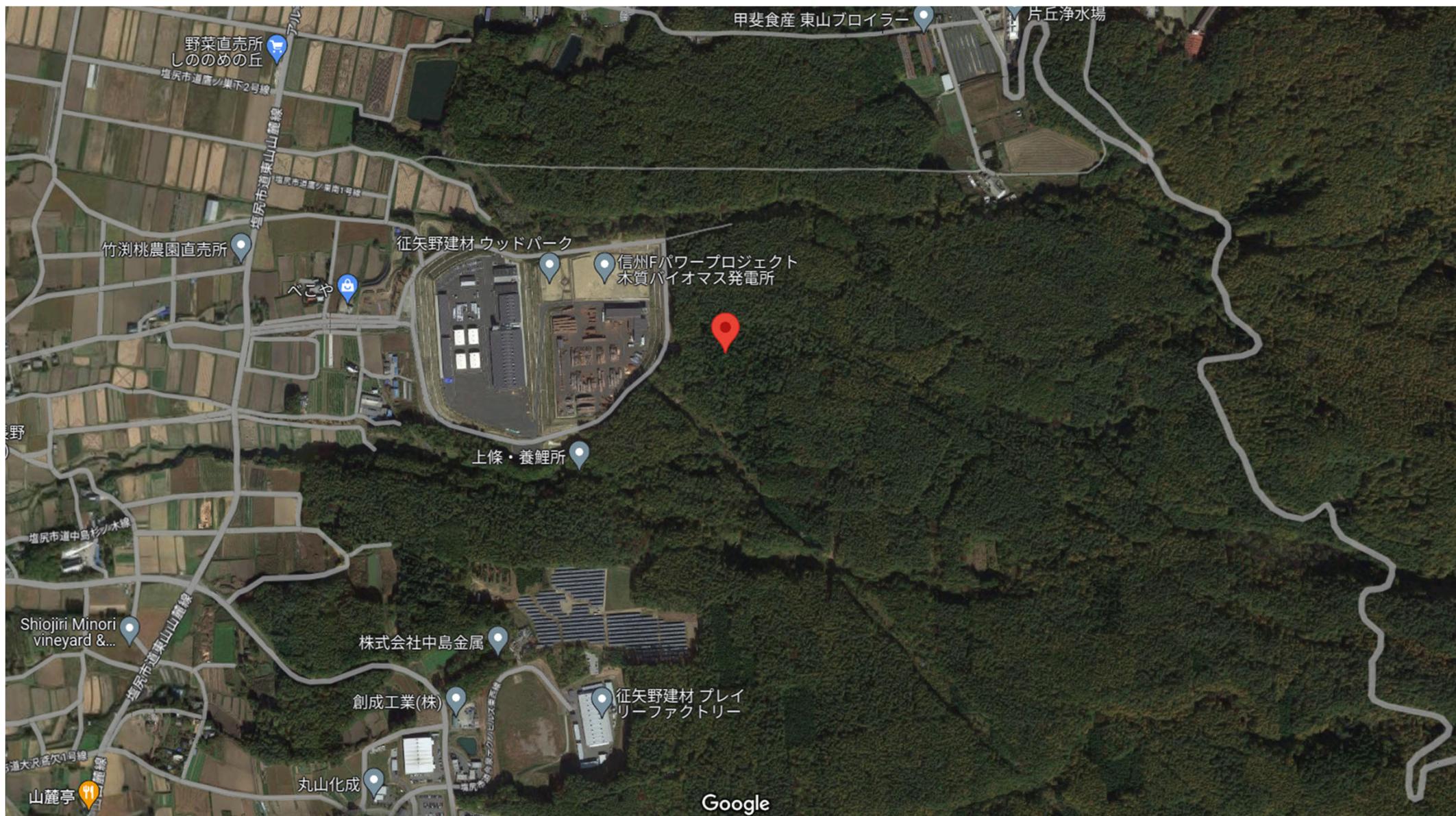
# 工事概要

---

- ・事業地 塩尻市片丘  
9214-44
- ・事業面積 4919.786 m<sup>2</sup>
- ・土地面積 4443 m<sup>2</sup> (実測 6019 m<sup>2</sup>)
- ・パネル出力 467.28 kW
- ・事業規模 249.9 kW
- ・配置図面 別紙参照

※現地の状況により配置等変更になる可能性がございます。

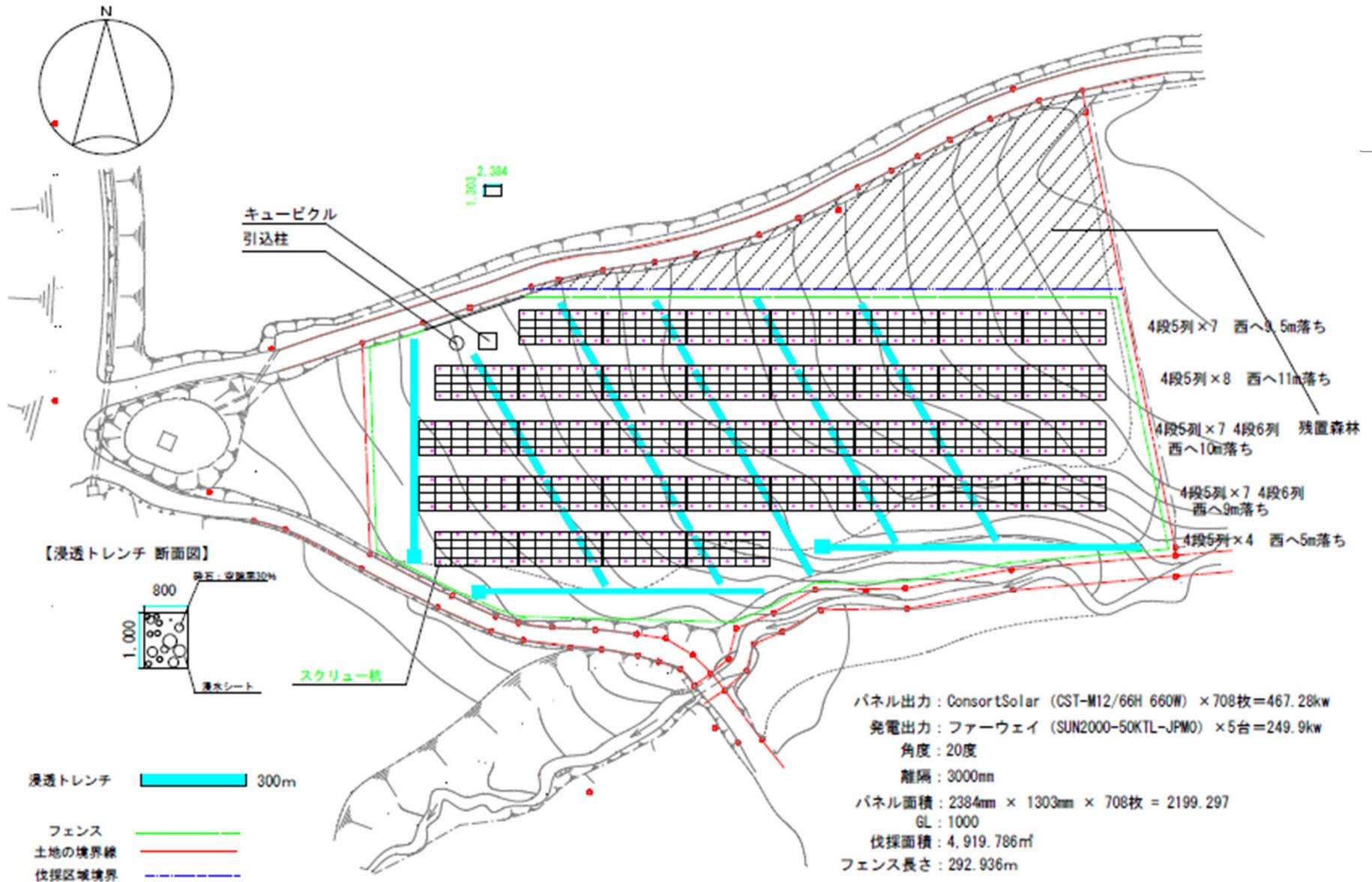
# 塩尻市片丘9214-44



# 公図



# 配置図面



# 雨水計算書(浸透トレンチ)

$$Q=1/360 \times C \times l \times A$$

Q=計画降水量(m<sup>3</sup>/s)

C=流水係数 太陽光パネル:0.9 間地:0.5

l=降雨強度 96.8(mm/hr)30年(長野県ホームページ 松本 地域参照)

A=集水面積 太陽光パネル:0.220(ha)

間地:0.272(ha)

太陽光パネル:1/360 × 0.9 × 96.8 × 0.220 = 0.053(m<sup>3</sup>/s)

間地部分 :1/360 × 0.5 × 96.8 × 0.272 = 0.036(m<sup>3</sup>/s)

計 0.089(m<sup>3</sup>/s)

10分当たり

0.089 × 600 = 53.4(m<sup>3</sup>/10min.)

53.4 × 1.2(安全係数) = 64.1(m<sup>3</sup>/10min.)①

【浸透トレンチ処理量】

$$H \leq 1\text{m}$$

$$W \leq 1\text{m}$$

$$Kf = aH + b(\text{m}^3)$$

$$A = 3.093$$

$$B = 1.34W + 0.677$$

1m 当たりの基準浸透量

$$Qf = ko \times Kf(\text{m}^3/\text{hr})$$

$$Gl = c \times Qf$$

Ko:浸透係数(m/hr)

c:影響係数(影響係数 0.81=地下水 0.9 × 目詰まり 0.9)

浸透トレンチを W=0.8、H=1m とする

$$Kf = 3.093 \times 1 + (1.34 \times 0.8 + 0.677) = 4.84$$

$$Qf = 0.54 \times 4.84 = 2.6136(\text{m}^3/\text{hr})$$

$$gl = 0.81 \times 2.6136 = 2.117016(\text{m}^3/\text{hr})(1\text{m 当たり})$$

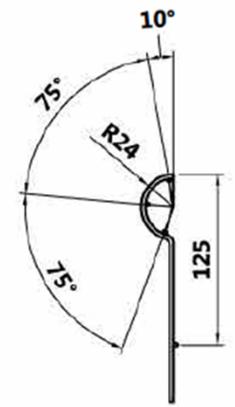
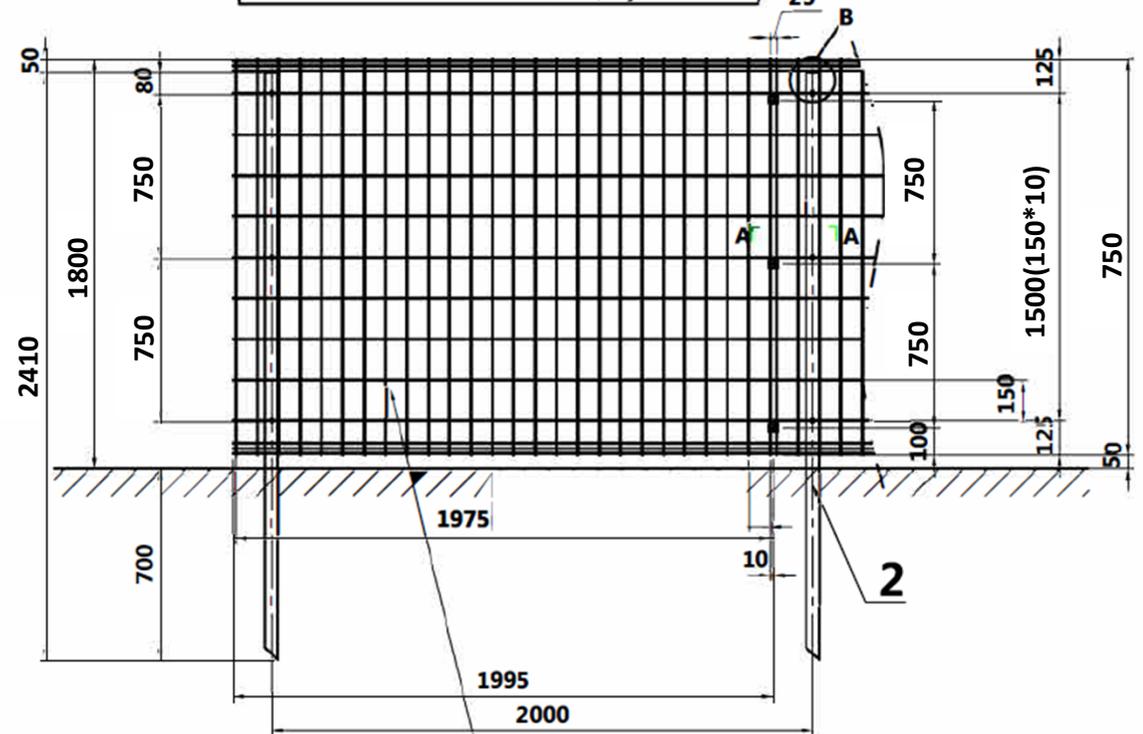
$$10\text{分当たり}: 2.117016(\text{m}^3/\text{hr}) / 6 = 0.352836(\text{m}^3/10\text{min.})$$

①の降水量の処理に必要な浸透トレンチ

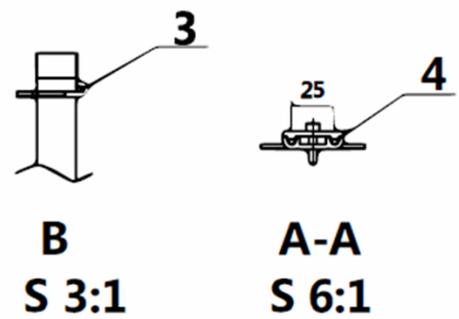
$$64.1(\text{m}^3/10\text{min.}) / 0.352836(\text{m}^3/10\text{min.}) = 181.67\text{m} \doteq 182\text{m}$$

本圖須加蓋有效版本章,否則一律無效  
This drawing is valid only if with cover page with valid version.

線形(垂鉛メッキ): T3.2  
線形(ディップコーティング): T3.6



S 5:1  
折り曲げる原図



NO.	部品の名称	規格	数量	材料	備考
4	アルミ製ネット止め セット02	35*27mm	3	AL6005-T5	
3	J型ボルトセット	M6x70	3	SUS304	
2	フェンス立柱L2-B2150	φ48*2150*T1.5	1	Q235	
1	メッシュB-1995*1450	1995*1450	1	Q235	

物料表 物料名称/Item Name 规格/Spec 数量/Qty 单位/Unit 重量/Weight 备注/Remarks	未注公差/Unnoted Tolerance 0.5 0.3 0.2 0.1 0.05 0.02 0.01	表面処理/Finish 无处理/No Finish 阳极氧化/Anodize 电泳涂漆/Electrocoat 粉末喷涂/Powder Coat	公司名称/Company Name 福建省向宝能源科技有限公司 Fujian Newpower Energy Tech. Co., Ltd. 地址/Address 厦门市思明区... 电话/Phone 0592-2000000 传真/Fax 0592-2000000	版本号/Version 01 日期/Date 2023.08.01 制图/Drawn by 审核/Checked by 批准/Approved by 视图/View 比例/Scale 1:1	零件名称/Part Name フェンス02-B1500 (打ち込み式支柱) 零件编号/Part No. 材质/Material Q235 重量/Weight 共 1 张 第 1 页
--	--	--	---	--	--

## メンテナンス(株式会社トライル)

- ①緊急時 駆付現場対応
- ②災害等起きた場合の復旧作業
- ③除草作業 年2回
- ④定期点検 電気・目視等

## 太陽光発電システム点検(中部電気保安協会+株式会社トライル)

### ○太陽電池モジュール

モジュール、架台固定確認・ガラスの破損確認・フレームの破損確認・ケーブル類の接続確認  
設置取付工事の確認・配線保護剤の確認・防水処理の確認・パネル架台間の導通確認・接地抵抗測定

### ○直流集電箱・交流集電箱

外箱の破損劣化腐食の確認・防水処理の確認・配線保護材の確認・配線接続確認・端子の増し締め確認  
設置取付工事の確認・開放電圧測定・直流交流電圧測定・絶縁抵抗測定・接地抵抗測定

### ○パワーコンディショナ

外箱の破損劣化腐食確認・配線接続確認・端子の増し締め確認・設置取付工事野の確認・開放電圧の測定  
直交流電圧測定・絶縁抵抗測定・受電電圧測定・運転の切り替え確認・時限タイマ動作確認・自立運転確認・  
異常音、振動、異臭確認・保護継電昨日の設定・抑制状態確認

### ○その他

発電モニターの確認・電力量計確認・エラーチェック・積算情報確認・動作履歴確認・漏電ブレーカー動作確認  
遠隔監視機器・付属機器の確認(設置している場合のみ)

### ○復旧修復

不備箇所の訂正(点検時に対応可能なもの)

### ○報告書の作成

# 事業実施体制図

事業者  
有限会社中村商事  
代表取締役 中村茂美  
連絡先0276-72-2035

保守点検責任者  
株式会社トライル  
責任者氏名 平良諒  
連絡先026-285-0735

中部電気保安協会  
松本営業所  
連絡先0120-760-602

モジュール  
会社名 consortolar

パワーコンディショナー  
会社名 HUAWEI JAPAN  
連絡先 0120-258-367

# 1、事業区域の周辺環境に及ぼす影響及びその対策

## (1) 騒音について

- ・ パワコンディショナー（音が発する機械）を事業地の南側に設置する予定となります。45dB（デシベル）通常の会話は可能出来るくらい、家庭用クーラーの室外機と同等の音になります。

パネルからは音は発しません。

### 参考資料

音量 (デシベル)	人工の音	自然界の音	体感
140デシベル	至近距離のジェットエンジン	至近距離での落雷	地響きを感じるほどうるさい
130デシベル	ジェット機の離陸時、ドラム		空気の振動を感じるほどうるさい
120デシベル	トランペット、	近所への落雷	極めてうるさい
110デシベル	至近距離での車のクラクション		極めてうるさい
100デシベル	電車通過時のガード下、油圧プレス		極めてうるさい
90デシベル	車のクラクション、騒々しい工場内、ライブハウスの店内	犬の吠える声	極めてうるさい
80デシベル	地下鉄の車内、救急車のサイレン		うるさい
70デシベル	掃除機の音、洗濯機の音、テレビ大音量	セミの鳴き声、カエルの鳴き声	うるさい
60デシベル	チャイム、通常の声での会話、風呂やトイレの排水音		ちょっと気になる
50デシベル	エアコンの室外機、静かなオフィス内	小鳥のさえずり	普通
40デシベル	図書館、静かな住宅街	小鳥のさえずり、しとしと降る雨音	静か
30デシベル	柱時計の振り子の音	木々のそよぎ、ヒソヒソ声	静か
20デシベル	スタジオの無音状態	ささやき声、雪が降る音	何も聞こえない
10デシベル	-	蝶の羽音	無音に近い
0デシベル	無響室内	-	無音

(2) 反射光について

- ・ 反射光シミュレーションをおこない周囲に影響がない事を確認致します。

(3) 景観について

- ・ パネル、フェンス等は周囲に馴染むように色が控えめのものを選定して設置します。  
道路からセットバックして茶色のフェンスを設置します。  
架台の高さは積雪等を考え必要以上に高く設置しないように計画します。

(4) 雨水排水・土砂の流出について

- ・ 雨水は、施設内で浸透できるように浸透トレンチを設置します。  
浸透試験を行い雨水計算をしております。

## 2、安全対策及び防災措置

(1) 柵塀等の設置について

- ・ 図面、フェンス図面参照 高さ1800mm 色は茶色を予定しております。

(2) 発電設備の設計について

- ・ 強度計算書 メーカー依頼中

### (3) 法令に関する手続き

#### ○塩尻市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例

- ・事前協議 令和5年11月8日受理
- ・着手の届出 事業着手の30日前まで

#### ○長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例

- ・事前相談書 令和6年5月2日受理

#### ○景観法

- ・着手30日前までに届出を提出する

#### ○伐採届

- ・着手30日前までに届出を提出する

#### ○土壌汚染対策法

- ・着手30日前までに届出を提出する

## 3、維持管理の方法及び非常時の対策

### (1) 火災保険、損害保険等の加入状況について

- ・設備の引き渡し後に、事業者が火災、損害保険に加入する。
- ・事業者とトライル間でメンテナンス契約を結び、契約内容にて対応。

※メンテナンス内容、事業実施体制図 別紙参照

### (2) 非常時の連絡先について

- ・出入口に看板設置 (株式会社トライル：026-285-0735)

## 4、工事中の騒音及び振動の対策

- ・基本的に平日 8時～17時 に工事を行う予定です。着工通知は回覧致します。

## 5、工事中の資材等の搬出入等の管理の方法

- ・一般車両や通行の安全確保を行い通勤通学の時間帯は避けて搬入を行い、資材等を一時保管する場合は、周辺に飛散しないようにブルーシート等を掛けて対応する。工事終了後、廃材等は早急に片づけを行い、事業地の美化に取り組む。

## 6、発電事業の終了時の太陽光発電設備の撤去に係る資金計画

### 【廃棄等費用積立制度】

○原則、源泉徴収的な外部積立て（売電収入との相殺）

対象：10kw以上のすべての太陽光発電（複数太陽光発電設備設置事業を含む。）の認定案件。

金額：調達価格/基準価格の算定において想定しいてきている廃棄等費用の水準。

時期：調達期間/交付期間の終了前10年間

※2020年6月成立のエネルギー供給強靱化法による改正再エネ特措法（＝再エネ促進法）

令和4年4月1日施行（令和4年7月より実施）

# 雨水対策設備の考え方

## 1 基本コンセプト

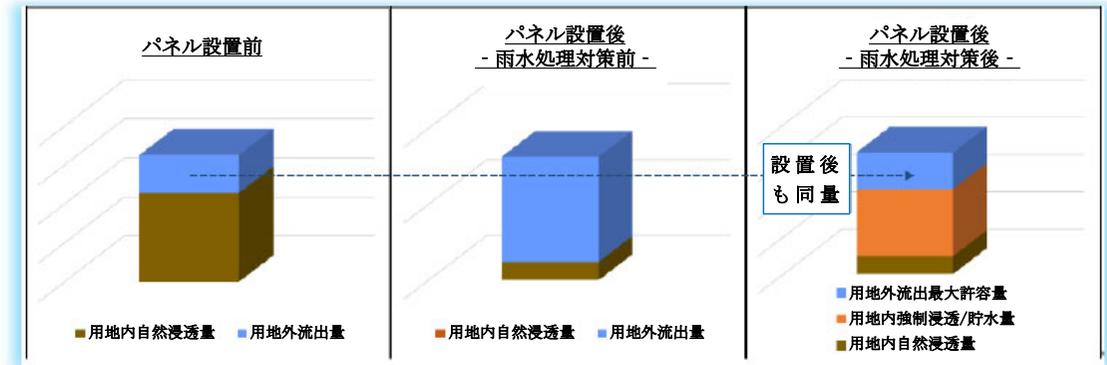
- 強雨に際しても、開発前とパネル設置後で計画地の環境負荷が同じ様に保たれる施設を整備
- 起こりうる危険雨量の設定として、30年に1度の大雨をベンチマークにして設計

## 2 想定基準

- 達成目標とする開発前の計画地外への自然流出量の想定には、一般的な開発指導要綱より少なく絞った数値を使用

## 3 管理された環境の設備

- パネルの設置によって地面への直接浸透が阻害される降雨を場内で集水し、浸透トレンチで捕捉吸収し、30年確率の大雨に至るまでの環境負荷が開発前と変わらない形で管理



◆ 強雨に際しても、パネル設置による浸透面積の減少によって、周辺へのあらたな環境負荷が生じない様な対策を整備します

◆ 上記基準内での降雨であれば、設備完成後も「地下浸透せずに計画地区外に流れ出る水は今までの状態と変わらない」と云う事が達成できる設計

## 太陽光発電設備設置工事 スケジュール

設備所在地: 塩尻市片丘9214-44

	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3
伐採・整地工事	伐採・整地					
架台設置工事			杭打ち・架台工事			
電気工事					電気工事	

※天候等の影響で工期が変更になる可能性があります。

2024年7月22日実施

塩尻市片丘発電所住民説明会議事録

開催場所：北熊井区公民館

参加者 8人

株式会社トライル：平良諒、上原純

有限会社中村商事：押田皓太

Q 土地は既に売買済みですか。

A 現状まだ引き渡しは終わっていません。  
条例の認可が降り次第売買が成立する見込みです。

Q 太陽光発電設備の下の土地は除草剤を撒きますか。

A 今のところ除草剤を撒く計画はありません。  
生えてきた草を逐一刈っていく計画になっています。

Q 個々の土地は松くい伐採した場所ですか。

A 今回の用地で伐採は行われていないのですが、周りは伐採が行われています。

Q ここは森林ですか。

A そうです。

Q 下に田んぼがあるのですが、前々から水の流が多くて心配です。

A 松葉沢川の南側なので大丈夫だと思います。  
河川事務所に意見を求めたのですが特に何も言われなかったです。

Q 採算は合いますか？買取価格を教えてください。

A 12円になります。

Q トレンチは浸水性のトレンチですか。

A 浸水するようなトレンチです。

Q 崩れる心配はありますか。

A 雨量を計算して環境対策委員会で検討してトレンチを長めに計画したので  
想定できる雨量には対応できると判断しました。

区長 災害に関する事故などが起こる可能性があるので、設置する際に起こった損害、管理中に起こった損害に関しての協定書を8月1日付けで区と結ぶことになっています。区としても役員会でその内容に関しては確認済みです。

Q 保険に関して、20年経ったときに続ける可能性もあると思うのですが、周りに被害があったときの損害への保険は入っていますか。  
第三者への被害の保険も入っていますか。

A 設備が原因で第三者へ被害を与えてしまった場合に補償が出る保険に加入予定です。

Q 撤去費用は含まれていないのですか。

A 撤去費用は国の決まりで売電費用から積み立てる事になっています。

区長 事業が継続できない場合は継承する事業者が協定書を引き継ぐことになっています。

Q 12円でも採算は合いますか？

A 総工費が7000万円で、年間の売電収入が700万円になる見込みです。  
10年で回収できる計画になっています。

(参考様式) (第 19 条関係)

## 維持管理計画

作成日 令和 6 年 5 月 1 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字片丘字梨ノ木 9214 番 44	
事業者名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	群馬県館林市下早川田町 708-2 有限会社中村商事 代表取締役 中村茂美 0276-72-2035	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社トライル 長野市青木島町綱島 647-4
	電話番号	026-285-0735
合計出力	249.9 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	令和 27 年 8 月 29 日	
損害保険の加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する。 ・FIT 法の廃棄費用積立制度に基づく廃棄費用の外部積立を実施	
維持管理計画及び状況の公表方法	関係者から請求があつた場合に開示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

### ○強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

### ○豪雨による水害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

- ・事故、災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関 (経済産業省、県など) に連絡をする。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			年1回			
積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			年1回			
ボルト、ナットの緩みがない。			年1回			
固定強度に不足の懸念がない。			年1回			
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。	年1回		
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回		
			雨水、じんあい等の侵入がない。	年1回		
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。	年1回			
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。	年1回		
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年1回		
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年1回		
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回		

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

## 附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	<input type="checkbox"/>	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	<input type="checkbox"/>	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
つなぎ目にずれがない。						
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	<input checked="" type="checkbox"/>	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	<input type="checkbox"/>	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

			草木の繁茂がない。		
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス(防護柵)	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年1回	
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	
			雨水等による洗掘がない。	年1回	
			草木の繁茂がない。	年1回	
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	
			雨水等による洗掘がない。	年1回	
			草木の繁茂がない。	年1回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。